

令和 6 年 7 月 12 日
大臣官房官庁営繕部計画課

令和 5 年度完成工事の 98%以上で週休 2 日を達成！ ～営繕工事における「週休 2 日促進工事」の取組状況について～

国土交通省では、週休 2 日に取り組む営繕工事を対象にモニタリングを実施しています。令和 5 年度に完成した工事では 98%以上で週休 2 日を達成し、前年度より高い達成率となりました。引き続き、受注者へのアンケート結果等を踏まえて、発注者の対応について必要な改善を図りつつ、「月単位の週休 2 日」の確保に向けた取組を推進してまいります。

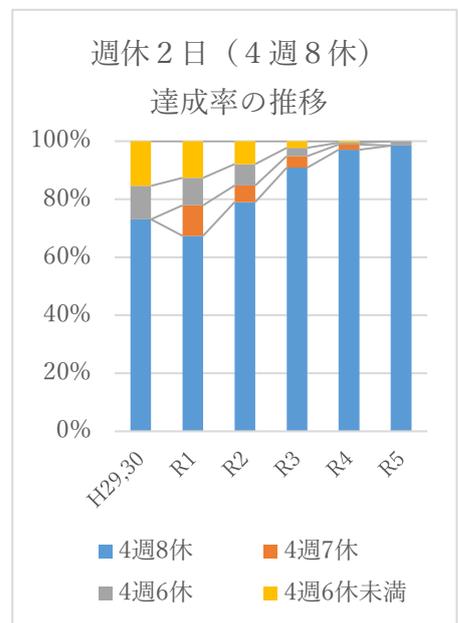
1 背景

営繕工事においては、政府の「働き方改革実行計画」に示された方針などに基づき、平成 29 年度から週休 2 日の確保に取り組むとともに、モニタリングを実施し、週休 2 日確保の阻害要因の把握や改善方策の検討を進めています。平成 30 年度からは、労務費補正等の試行を行う「週休 2 日促進工事」を導入して取組の拡大を図りつつ、継続してモニタリングを実施しています。

今般、令和 5 年度に完成した週休 2 日促進工事の取組状況をとりとまとめました。

2 取組状況（概要）

- 令和 5 年度に完成した対象工事 128 件のうち 126 件（98.4%）で週休 2 日を達成しました。前年度（97.1%）と比べて 1.3 ポイント増加しています。
- 週休 2 日を達成できた要因としては「受発注者間で円滑な協議が実施されたため」「適正な工期設定がなされたため」が多く挙げられています。
- 週休 2 日を達成できなかった要因としては「職人の確保が困難であったため」等が挙げられています。
（取組状況の詳細は別紙をご覧ください。）



3 今後の方針

今年度より、工期中の全ての月において 4 週 8 休以上を目指す「月単位の週休 2 日」の確保に向けた取組を推進しています。

引き続き、アンケート結果等を踏まえて、執務並行改修などで施工上の制約となる条件について、工事発注前の案件形成段階から施設利用者等と十分に調整を行うなど、発注者の対応について必要な改善を図ってまいります。

<お問い合わせ先>

大臣官房官庁営繕部計画課 松村（内線 23223）、金辻（内線 23226）
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8234

営繕工事における「週休2日促進工事の取組状況」について

～令和5年度に完了した工事の結果～

令和6年7月

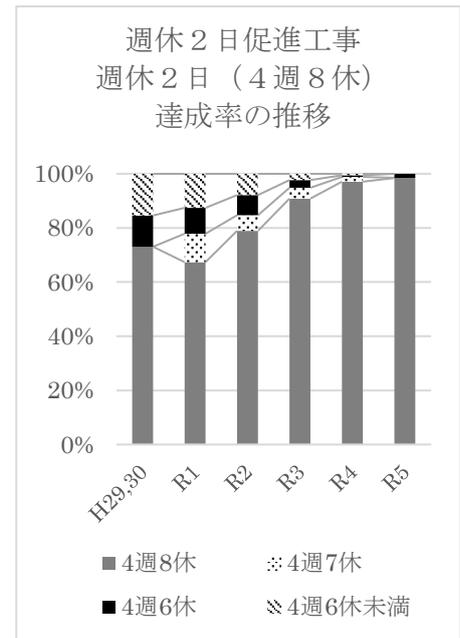
令和5年度に週休2日に取り組んでいる営繕工事 293 件※1のうち、令和6年3月末までに完了した128 件※2の工事の取組状況をとりました。

※1 令和5年度に本省及び地方整備局等において実施した「週休2日促進工事」の総数。前年度から継続している工事及び次年度に継続する工事も含む。

※2 128 件のうち、79 件が発注者指定方式、49 件が受注者希望方式により発注。

(1) 週休2日（4週8休）の達成状況について

- ・ 128 件中 126 件（98.4%）で4週8休を達成した。前年度（172 件中 167 件（97.1%）で達成）と比べて1.3ポイント増となった。
- ・ 4週8休が達成できなかった2件では4週6休を達成した。
- ・ 発注区分別にみると、建築では73 件中71 件（97.3%）、電気設備では24 件中24 件（100%）、機械設備では31 件中31 件（100%）で4週8休を達成した。
- ・ 新築、改修等の別でみると、新築では22 件中21 件（95.5%）、改修等では106 件中105 件（99.1%）で4週8休を達成した。



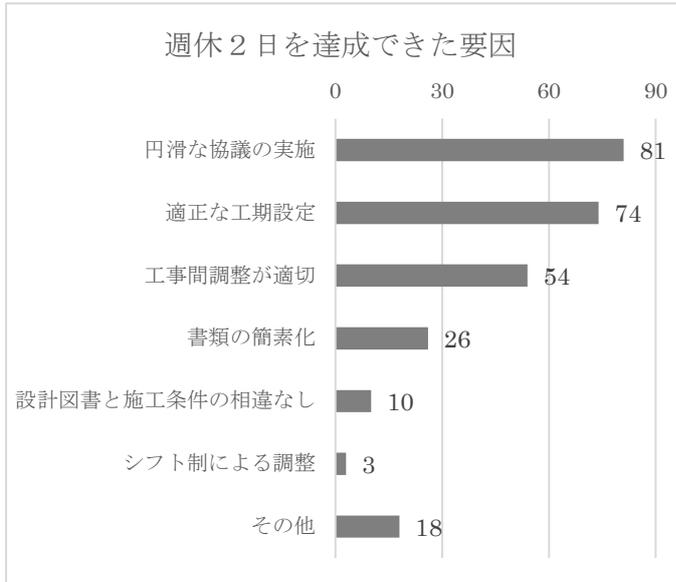
発注区分	すべての発注区分			建築			電気設備			機械設備（EV含む）		
	合計	新築	改修等	合計	新築	改修等	合計	新築	改修等	合計	新築	改修等
4週8休	126	21	105	71	12	59	24	3	21	31	6	25
4週7休	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4週6休	2	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0
4週6休未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	128	22	106	73	13	60	24	3	21	31	6	25

(2) 週休2日の達成・未達成の要因について（アンケート結果）

アンケートは、工事完了時に調査票を現場代理人等に配布して行っており、週休2日を達成できた要因と達成できなかった要因について、複数選択肢の中から当てはまる理由を選択してもらった（複数回答可能）。

ア) 週休2日を達成できた要因

週休2日を達成できた要因として、「受発注者間で円滑な協議が実施されたため」が81件と最も多く、続いて「適正な工期設定がなされたため」が74件となっている。



(具体的内容)

- ・受発注者間で図面関係、工程等調整、現場作業間調整を実施し円滑に進めた。
- ・ASPの活用により工事書類の提出・監督職員指摘事項への確認対応等が円滑に進んだ。
- ・早期に工程を確立し実施した。
- ・十分な製作期間と施工時間、施設管理官署の協力を得られた。
- ・使用者との事前調整をしっかりと行う事により日程調整が出来た。
- ・機器関係の納期が考慮されていた工期設定であった。
- ・ワンポイント等の発注者対応が迅速だった為に、工事中に回答待ちで作業が中断する事がなかった。
- ・協力業者に週休2日を周知。週休2日を前提に工程を計画し、作業員の人数を調整出来た。
- ・人数の確保など、協力業者からの協力を得られた。

イ) 週休2日を達成できなかった要因

週休2日を達成できなかった主な要因として、「職人の確保が困難であったため」といった回答があった。

(具体的内容)

- ・作業員の病休があった。
- ・特定の工種に必要な人数の職人が確保できなかった。